

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟

http://www.satram.jp/byacky/

byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人



役にたたない偏重サイト  
情報がグレードダウン!!

アクセス不要

http://www.satram.jp/

info@satram.jp

byacky press

# 音源

半年以上前にスタートしたプロジェクト、びゃっきーのまともな音源作成プロジェクトもようやく形になろうとしている。様々な人の協力により、様々な困難を乗り越え、なんとかここまで漕ぎ着けた。反骨精神と現在の世を愁うシニカルな仕上がり、君はロック魂を感じるに違いない。そんな音源完成の感謝と反省の意を込めて、その長かりし道のりを走馬灯のように振り返ってみたい。

# 完成まであとひと月

そもそもいつ始まったのかこのプロジェクトは。あまりの昔の出来事のため、すっかり忘れてしまった。確か徳川九代将軍が、阿呆の振りをしながらも、何やら腹に一物も二物も抱え込んでいた、ある紅葉の綺麗な秋の日だったような気がする。その後の水野の改革があまりに厳しく、人々の荒んだ

心を慰めようとして立ち上がった企画だったような気がする。やっこ姫の号令の下、時の領事館カクトー大使が陣頭指揮を取り、阿佐ヶ谷冬の陣の火蓋が切って落とされたが、大将であるびゃっきーの器が、大将たるに値しなかつたのと、カクトー大使の部屋が片付かなかつたせいで、まるで

振るわない結果に終わった。とりあえず形だけはどうしようと試みたが、それはそれ、大層なへなへなしたとんでもないものが出てきそう

で、カクトー大使もびゃっきー大将も恐ろしくつらがつらで中途で投げ出された。やがて月日は立ち、大岡勘吉が遅崩しに進めたので失敗した感が否めない。

そんな感じで阿佐ヶ谷春の陣が始まった。カクトー大使が良いコンディションで入った。カクトー大使が、さすがに武器が違ふと結果も違ってくるように、冬の陣の時とは、比べ物にならない成果を上げられそうだった。調子に乗ったびゃっきーは無茶なコーラスを捻り出し、ぶつけてみる作戦に出た。傭兵を徴用し、作戦に参加させるも、微妙に空回り、仕方なく大将御自ら陣

頭指揮を取り、辛うじて作戦終了となった。そうして、「60億分の1」のレコーディング作業は予定通りに進み、突発的にカクトー大使にギターを入れてもらったり、録音データを次々と編集したり、編集でもうた余計なコーラスを次々に削除したりして、なかなか聴けるものに仕上がった。気がするのだが、しばらくたつて聴いてみたりすると、がっかりしたりするので、要注意である。とにかくほぼほぼ上がりという状況になつたが、一曲だけだと幕末を乗り切れない可能性があるため、「深呼吸した」をカップリングにしよう

とこちらもレコーディングを始めたい。こちらは「60億分の1」と比較すると音が多くなってしまったので、ややもつたまにか夏の陣になってしまっているからである。(びゃっきー)



こので欲が出たので、演奏陣にくつか添え物をしたいというのが現在の状況である。並行して歌詞カード等の製作を今後行つて完成となる。なんと7月中には公開したい。なぜなら、春の陣だとばかり思っていたのに、いつのまにか夏の陣になってしまっているからである。

使用禁止令を公布してみた。ところがこれが演奏の誤魔化しが利かないため、大将自身の首を締める結果となった。さらに録音がせつなくうまくなつたため、最初からやり直す羽目となり、再度同様の苦勞を背負うことになった。

その分、歌の録音はすんなりと進み、録ったコーラスはなかなかの出来で、むしろポーカートラックに格上げして、城持ち大にしてやってもよい出来映えである。

# 大詰最終調整へ

